

(様式 3)

女性農業者活躍促進計画

実施主体名	スローフード宮崎の景観と伝統野菜を守る農業者コミュニティ
取組	女性農業者グループの活動支援
構成員数	16人(うち、女性の人数:7人) (令和3年5月時点)

1 事業実施方針

<p>(1) 背景</p> <p>スローフードコミュニティの女性全員が「女性活躍推進」実感なし! 家族経営協定を締結や女性農業者の地位向上に向けた取組が進む中で、宮崎県では依然として家事や育児、介護は女性の仕事であると認識されているので、男性にくらべて負担が重くなっている。そもそも女性活躍以前に、男性中心の農村から脱却できていないのが実態である。</p> <p>(2) 問題点</p> <p>(a) 長時間労働 仕事だけでなく、家庭内における「家事・育児・介護」での働き過ぎによりストレスで苦しんでいる女性農業者が多い。</p> <p>(b) ロールモデル不足 長時間労働で身も心も疲れ切っていたら、憧れも希望も持てず、むしろネガティブな印象しか残らない。あんなふうになりたい!と思える女性農業者が少ない。</p> <p>(c) コロナ禍で観光農園や畜産農家の収入減少に伴い、家庭内の精神的ストレスが高まり、女性農業者の活動に家族の理解を得ることが難しい状況が続いている。</p> <p>(3) 事業目標、効果</p> <p>(a) スローフードコミュニティメンバー全員の所得向上 農業所得を増大させることで、女性の活躍に対して家庭内の理解を深めることにつながる。 事業化予定年度(令和3年)の売上高成長率目標 : 各自 2%アップ 目標達成年度(令和5年)の売上高成長率目標 : 各自 8%アップ</p> <p>(b) 規格外品で新商品を開発し、直接販売を行う6次産業への転換を図る 農業分野の6次産業化は、初期投資が大きいうえに黒字化を達成できない!という課題を抱えている農業者が多く、ハードルが高い。 本事業を活用し、コミュニティメンバーの優良な人脈やファンを巻き込んだ「共同開発商品発売」に向けた試作品を製造することで、本事業の目標達成年度(令和5年)の売上高成長率目標達成に近づくための加工部門の収益向上と6次産業化を目指す女性農業者を増やすきっかけづくりや意識づけを図る。</p>
---

- (c) コラボ商品販売でコロナ禍でも収入を維持・向上させる  
 コロナ禍で需要減の高級フルーツが平年より安くなり、完熟マンゴーやシャインマスカットなどの高級葡萄を農協に出荷しているコミュニティメンバーの所得の減少が続いている。事業化予定年度(令和3年)の売上高成長率目標達成のために、ECサイトを活用し、メンバーとのコラボ商品販売を開始する。  
 さらに、女性農業者ならではの思い出に残るサービス(顧客のツボを押さえた梱包体験など)を提供し、顧客をファン化させ、支持される存在になることで女性農業者の家庭内で地位向上や農業経営等への参画の推進に取り組む。
- (d) 本事業を活用し、商品を取り巻くストーリー(顧客対応力、パッケージ、梱包など)を強化するための勉強会を開催し、メンバーの美意識を磨くとともに就農・移住希望者を巻き込んで活動することで女性農業者の確保・育成につながると考える。また、県内外で開催される「就農相談会」や「移住説明会」などで現場で活躍する女性農業者が増加していることを発信し、女性農業者の増加を図る。

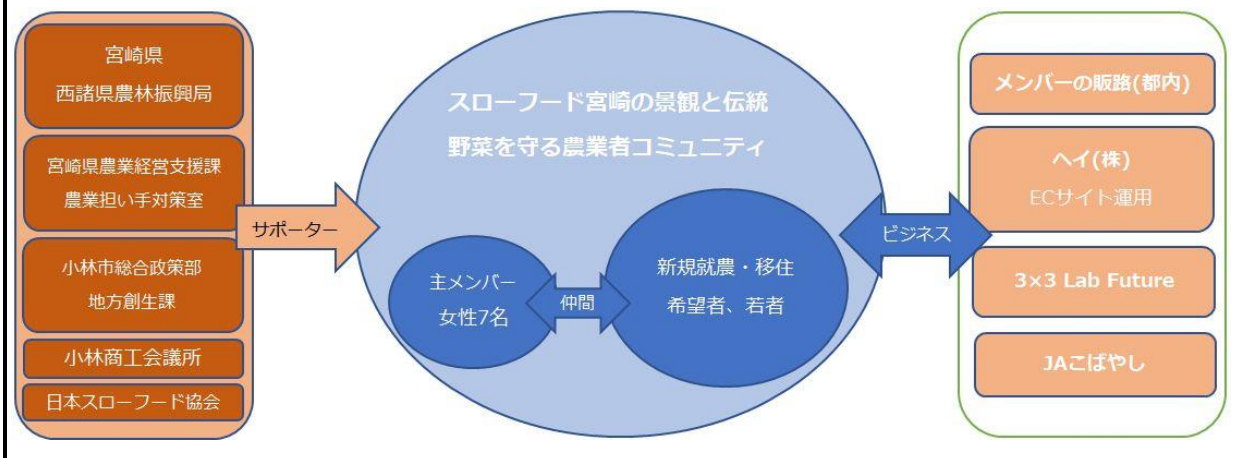
(注) 具体的に記載してください。

## 2 女性農業者活躍に向けた実施体制

(1) スローフード宮崎の景観と伝統野菜を守る農業者コミュニティメンバーの役割について  
 メンバー： 16人(うち、女性の人数：7人)

- ・代表者(研究・技術部門リーダー※土壌学、気象学、IT技術の知識を有する)：男性1名
- ・事務局(女性就農者相談窓口、ECサイト運用担当)：女性1名
- ・会計担当者：女性1名、会計監査(男性1名、女性1名)
- ・就農者相談窓口・広報(男性1名、女性1名)
- ・備品管理者(男性1名、女性1名)
- ・商品開発リーダー(食品加工技術を有する女性1名)、
- ・農業体験・食育部門リーダー(宮崎県食育ティーチャーの女性農業者1名)

(2) 関係機関との連携状況について



### 3 女性農業者活躍のため実施している取組及び今後の取組

#### (1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
令和 3 年 7 月以降の取り組み		
(a) 就農希望者、地域若者と対象に農業(食育)体験実施	年間 10 人前後 (目標)	
(b) 新規就農・移住希望者の研修・体験受け入れ	年間 4 人 (目標)	
(c) 女性農業者活躍の情報発信 情報発信媒体：SNS	毎月 (目標) 状況と目的に応じて随時発信	
(d) 宮崎県西諸県農林振興局、宮崎県農政水産部、小林市 総合政策部地方創生課、小林商工会議所との情報交換・ 協力依頼	年に 4 回程度 (目標) 必要に応じて随時実施	
(e) みやざき就農相談フェアや就農座談会等に参加	年間 1 回程度 (目標)	
(f) 美意識を磨く勉強会実施	年に 5 回程度 (目標)	

#### (2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
令和 3 年 7 月以降の取り組み		
(a) 定例会の開催 会議の内容次第でオンライン・オフラインの使い分け	毎月 (目標) 必要に応じて随時開催	
(b) 研究会の実施 食品加工、IT などの専門知識を身につける	必要に応じて随時オンライン で実施	
(c) 宮崎県や商工会議所での研修会参加を通じた関係性 ・ネットワーク構築	年間 2 回程度 (目標) オンライン・オフライン同時開催	
(d) 新規就農者のことを深く知るための、農業者同士の情 報収集や意見交換を行う	必要に応じて随時開催	
(e) 美意識を磨く勉強会実施	年に 5 回程度 (目標)	

#### (3) 女性農業者の活躍に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組) 小林市食育・地産地消推進活動に参画	1 回(2021 年 4 月)	
(今後の取組)		
(a) 小林市食育・地産地消推進活動に参画	1 回(目標)	
(b) 女性視点を生かした商品開発	2022 年 2 月まで (目標)	
(c) 都内の就農相談フェアや就農座談会、移住説明会等で 女性農業者の活躍や就農に役立つ情報を発信	1 回(目標)	
(d) 新商品の官能評価試食会を実施	1 回(目標)	
(e) 異分野・異業種研究フォーラムに参加	1 回(目標)	

#### 4 女性の活躍推進対策事業を活用した取組の計画内容

##### (1) 地域の女性ネットワークづくり、女性グループ活動

###### 【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
2021年7月 ～ 2022年2月	<b>活動①:規格外品を活用した商品開発に向けた試作品製造</b> ・加工業者や料理人、消費者を巻き込んで試作品を製造 ・試作品製造のため、原材料と工具備品を購入 ・ターゲットに試作品送付 ⇔ 試食アンケートの結果を基に商品を改良 ・官能評価試食会を実施（12月） ・新商品の成分分析を実施	
2021年7月 ～ 2022年2月	<b>活動②:ECサイトでコラボ商品を販売</b> ・ECサイトにて、コラボ商品販売開始 ・商品を取り巻くストーリー(顧客対応力、パッケージ、梱包など)を強化	
2021年8月 ～ 2022年2月	<b>活動③:活発な他地域女性農業者や異分野研究者との意見交換や研修</b> ・メンバーや関係機関と意見交換し、対象を決定 → オンラインで開催 ※Web会議導入に必要な機器は自費で賄い、zoom会議実施に向けて勉強会を実施 ・異分野・異業種研究フォーラムに参加 ・宮崎ビジネスリーダー育成プログラム「ひなたMBA」を受講 ※受講費は自費で賄う	
2021年12月	<b>活動④:女性農業者の活躍や就農に役立つ情報を発信</b> ・都内開催の就農・移住説明会などに参加 ※活動①の「官能評価試食会」を同時に開催	

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

##### (2) 働きやすい環境整備への支援

###### 【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(2)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	7人
(新規確保女性農業者の内訳) 自営農業就業者 2人、雇用就農者 4人、アルバイト・ボランティア等 1人	

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事の女性とします。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。